



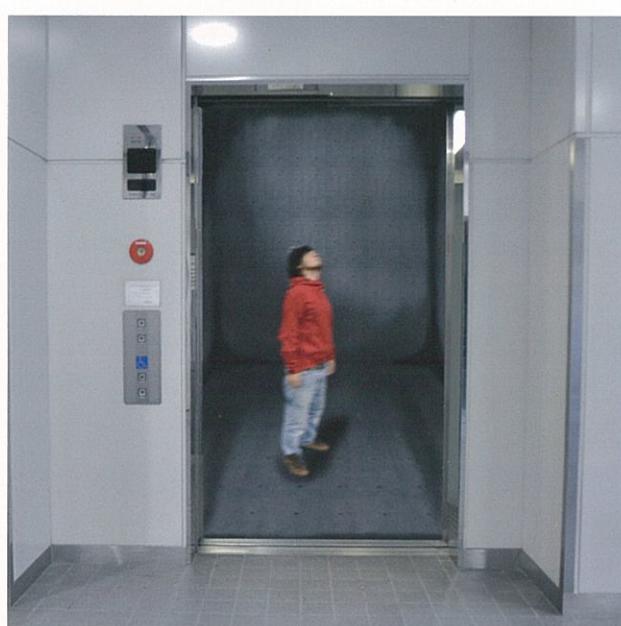
Prologue

普段、私たちはエレベーターのダクト内部を見ることはない。しかしエレベーターダクト部分は建築すべての階を貫いている大きな吹き抜け部分と捉えることが出来るのではないだろうか。その空間は、まだ見たことのない場所であり、非日常を体感できる場所である。エレベーターという身近な存在の普段は見れない部分だからこそ、そこは魅力的に感じるのではだいだうか。そこに注目し、現在のエレベーターの未来を考える。

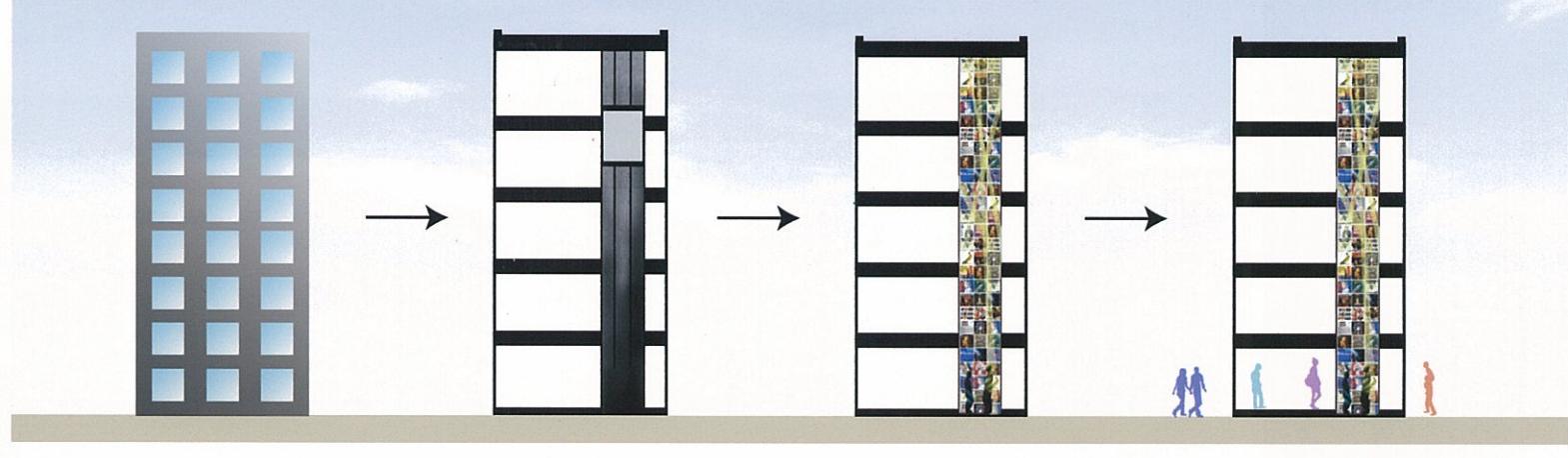


Concept

エレベーターダクト内部に街の表層を反転し、写し出す。



Diagram

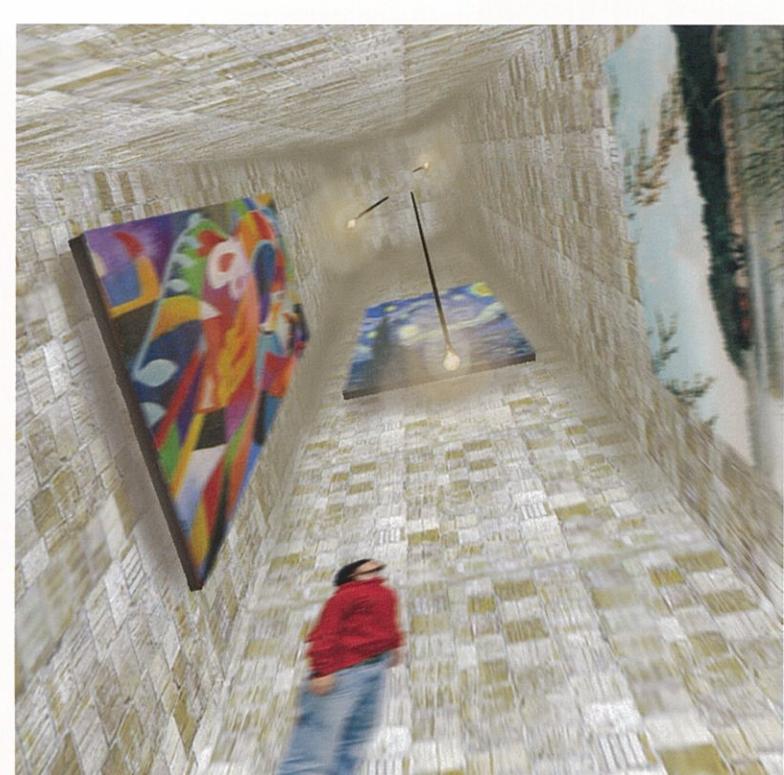
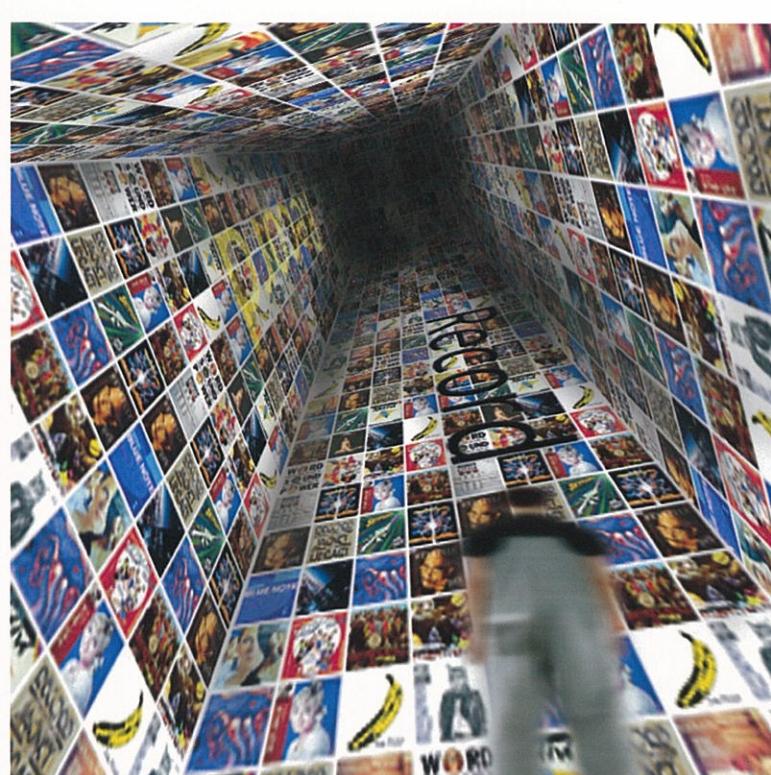


使われていない建物。

ビルを貫く大きなヴォイド。

展示空間として利用する。

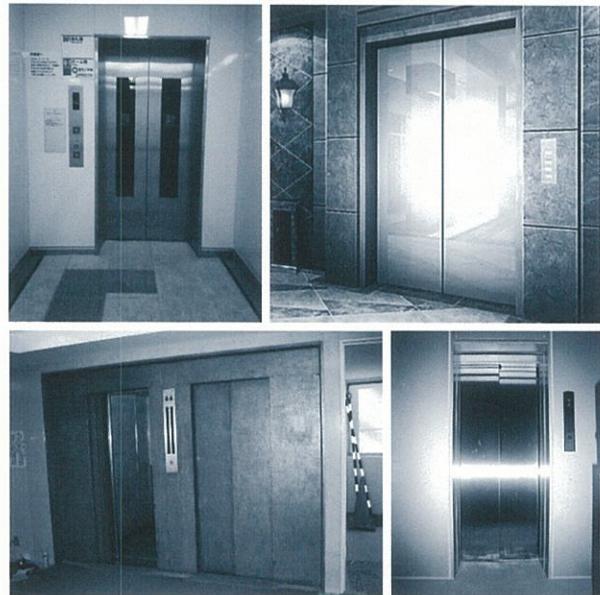
地域のコミュニティーの場となる。



使われていないビルのエレベーター空間をその町特有の物の展示やイベント会場として町の活性化を促す場所として提案する。普段は見れないエレベーター内部という非日常的な空間にその場所特有の物を展示することで新たな空間を生みだす。展示方法として、エレベータダクト内部の壁面に展示、上から吊り下げて展示する方法などを想定する。今までではただのエレベーターの移動空間だった場所が未来では町の情報を発信する場所、人々の憩いの場所として生まれ変わる。

エレベーターの裏の世界

Prologue



普段、私たちはエレベーターのダクト内部を見ることはない。しかしある日エレベーターダクト部分は建築すべての階を貫いている大きな吹き抜け部分と捉えることが出来るのではないだろうか。その空間は、まだ見たことのない場所であり、非日常を体感できる場所である。エレベーターという身近な存在の普段は見れない部分だからこそ、そこは魅力的に感じるのではないだろうか。そこに注目し、現在のエレベーターの未来を考える。

Concept

エレベーターダクト内部に街の表層を反転し、写し出す。

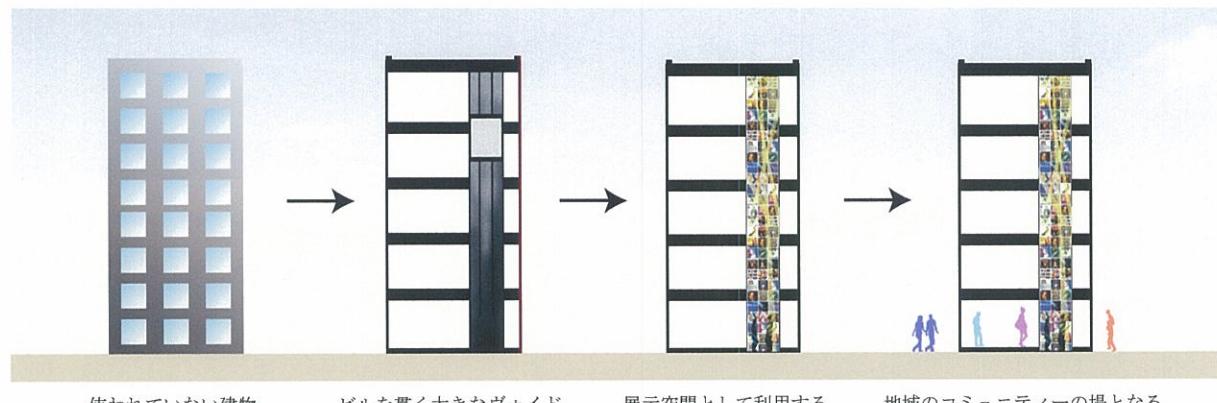


エレベーターの裏の世界

Diagram



使われていないビルのエレベーター空間をその町特有の物の展示やイベント会場としてすることで町の活性化を促す場所として提案する。普段は見れないエレベーター内部という非日常的な空間にその場所特有の物を展示することで新たな空間を生みだす。展示方法として、エレベータダクト内部の壁面に展示、上から吊り下げて展示する方法などを想定する。今までではただのエレベーターの移動空間だった場所が未来では町の情報を発信する場所、人々の憩いの場所として生まれ変わる。

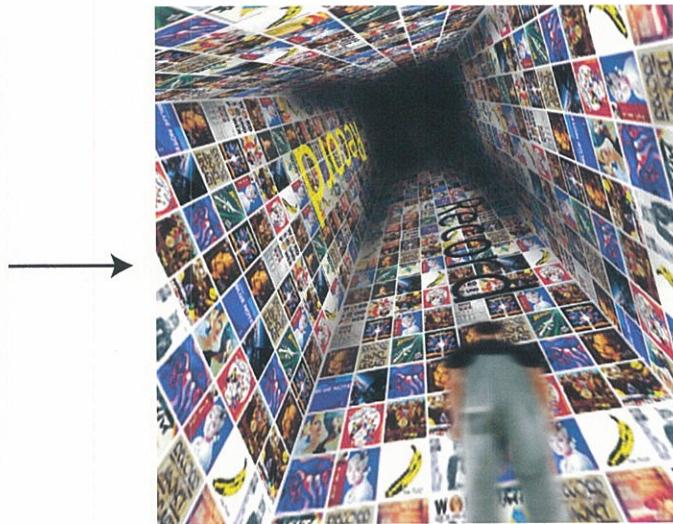
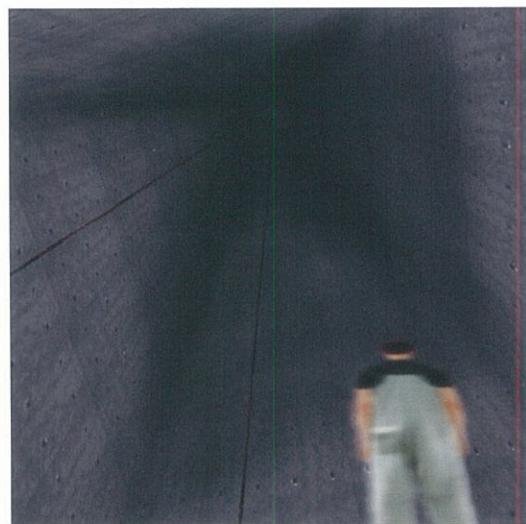


使われていない建物。

ビルを貫く大きなヴォイド。

展示空間として利用する。

地域のコミュニティーの場となる。

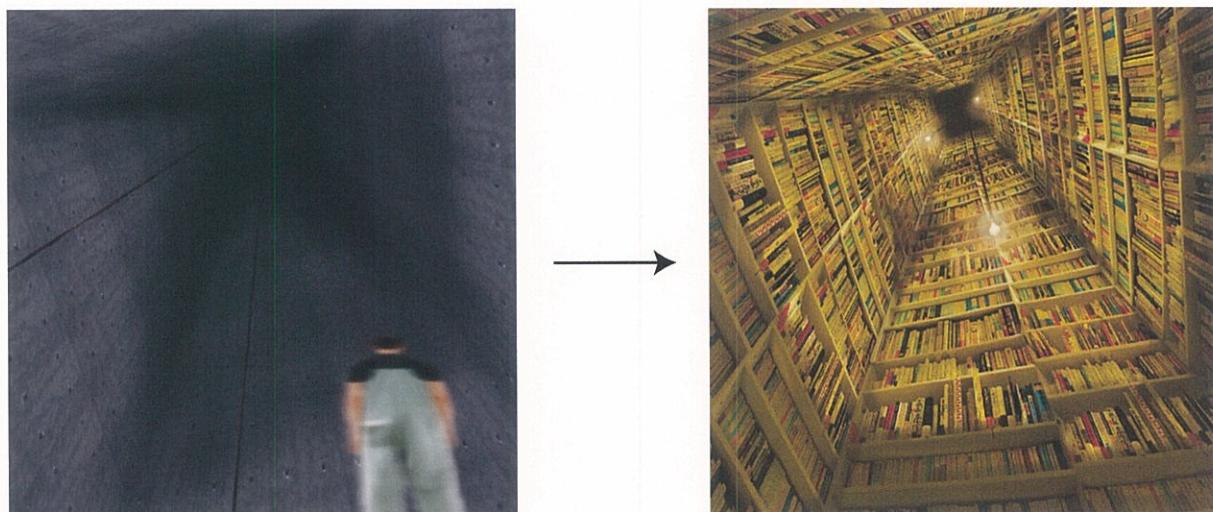
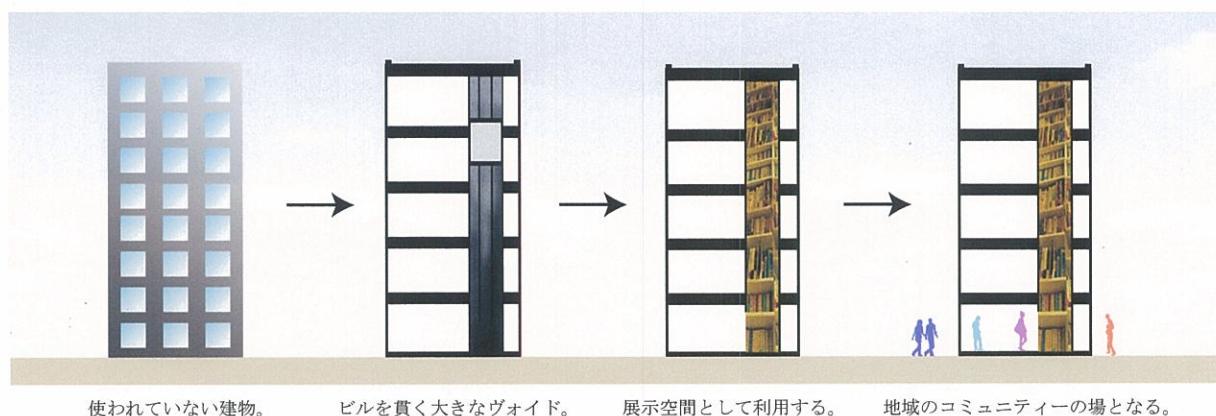


エレベーターの裏の世界

Case study ~神保町~



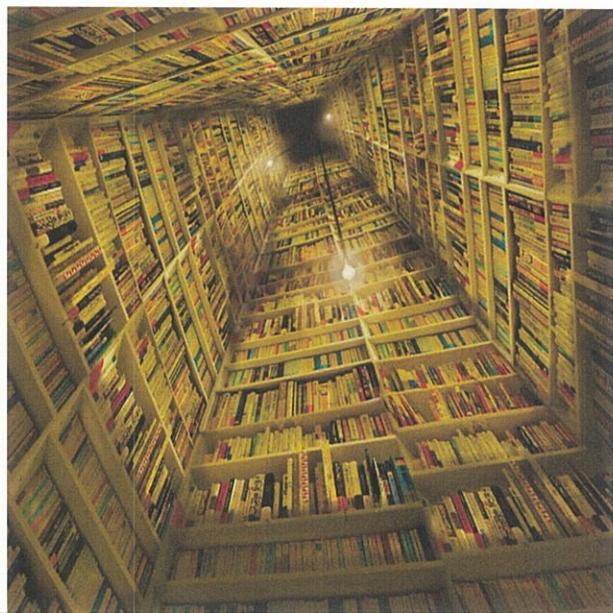
多くの書店や出版社、出版問屋の取次店が所在し、世界最大規模の古書店街として知られている。中には解体新書の原本を販売している店も存在する。神保町とその周辺には大学や専門学校が集まっているので、学生街として的一面を持つ。また、安価な飲食店が多く立ち並んでいる。神保町は書店街としての特徴があります。しかし近年では、ビルのテナントが減るなど衰退の一途を辿っています。そのような状況において使われなくなったビルのエレベーター空間を使い、神保町の特徴である、書物の展示の空間とします。



エレベーターの裏の世界

Variation

神保町の場合 - 書物の展示



下北沢 - レコードなどの展示



ギャラリーとしての利用

